



サードパーティ製コンプライアンス サーバとの統合

- 「サードパーティ製 IM コンプライアンスの概要」(P.A-1)
- 「サードパーティ製 IM コンプライアンスの設定」(P.A-2)

サードパーティ製 IM コンプライアンスの概要

Cisco Unified Presence IM Compliance の代替として、Cisco Unified Presence をサードパーティ製コンプライアンス サーバと統合できます。このソリューションを使用すると、Cisco Unified Presence がサードパーティ製コンプライアンス サーバにメッセージを正常に記録した後だけ、ユーザにメッセージが送信されます。コンプライアンス サーバが利用できない場合、Cisco Unified Presence は受信者にメッセージを送信しません。

サードパーティ製 IM コンプライアンスには次のコンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Presence サーバ Release 8.x : Cisco Unified Presence はサードパーティ製コンプライアンス サーバにメッセージを送信するために Event Broker コンポーネントを使用します。
- サードパーティ製コンプライアンス サーバ : クラスタ内の各ノードにサードパーティ製コンプライアンス サーバが必要です。
- IM クライアント : サポートされるクライアントには、Cisco Unified Personal Communicator などの Cisco クライアント、サードパーティ製 XMPP クライアント、および連動ネットワークで使用されるその他のサードパーティ製クライアントがあります。



(注)

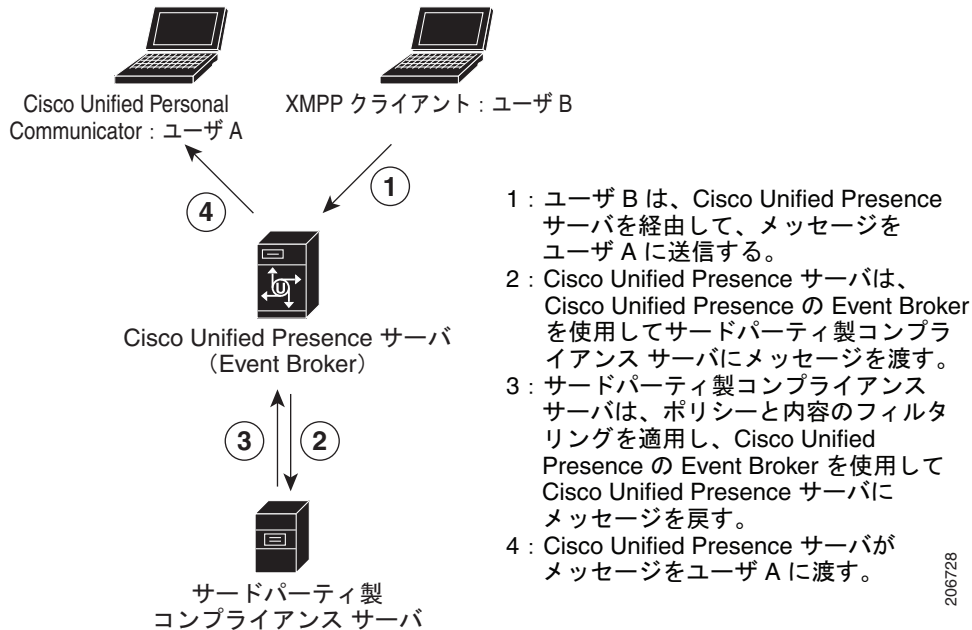
Cisco Unified Presence は、Cisco Unified Presence とサードパーティ製のコンプライアンス サーバ間にはセキュアな TLS/SSL 接続を提供しません。

サードパーティ製のコンプライアンス ソリューションを使用するには、クラスタ内の各ノードごとに、サードパーティ製のコンプライアンス サーバを設定する必要があります。Cisco Unified Presence は、ノードに関連付けられたユーザとの間で送受信が行われたすべてのメッセージを、そのノード用に指定されているサードパーティ製のコンプライアンス サーバに渡します。サードパーティ製のコンプライアンス サーバは、メッセージに関するポリシーまたはフィルタリングがあればすべてを適用し、Cisco Unified Presence にメッセージを戻します。Cisco Unified Presence は受信者にメッセージを送信します。Cisco Unified Presence とサードパーティ製のコンプライアンス サーバとの間で受け渡されるメッセージの量によっては、ネットワークでパフォーマンスの遅れが発生する可能性があることに注意してください。Cisco Unified Presence とサードパーティ製コンプライアンス サーバとの接続が失われると、すべての IM トラフィックが停止します。☒ A-2 に、これらのコンポーネントとメッセージ

フローを示します。

図 A-1

図 A-2 サードパーティ製 IM コンプライアンス



206728

サードパーティ製 IM コンプライアンスの設定

始める前に

- サードパーティ製のコンプライアンス サーバをインストールおよび設定します。
- 『*Installation Guide for Cisco Unified Presence*』の説明に従い、Cisco Unified Presence サーバをインストールします。
- 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』の説明に従い、Cisco Unified Presence サーバを設定します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration)] > [メッセージング (Messaging)] > [コンプライアンス (Compliance)] の順に選択します。
- ステップ 2** コンプライアンス サーバの選択項目から [サードパーティのコンプライアンス サーバ (Third-Party Compliance Server)] を選択します。
- ステップ 3** サーバの詳細を入力します。
- ステップ 4** (オプション) [パケット サイズ制限の有効化 (Enable Packet Size Limits)] を選択して、サードパーティ製のサーバに転送されるデータの量を制限します。
- ステップ 5** (オプション) [受け付けられるパケット サイズ (Accepted Packet Size)] フィールドにパケット サイズを入力します。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UP XCP Router サービスを再起動します。

トラブルシューティングのヒント

次の設定を変更する際には注意が必要です。変更を保存すると、以前の設定はすべて失われます。

関連項目

- 「Cisco UP XCP Router サービスの再起動」 (P.3-1)
 - 「サードパーティ製 IM コンプライアンスの概要」 (P.A-1)
 - 『*Installation Guide for Cisco Unified Presence*』
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/prod_installation_guides_list.html
 - 『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6837/products_installation_and_configuration_guides_list.html
 - 『*Database Setup Guide for Cisco Unified Presence*』
-

